

報道関係各位

2024 年 12 月 19 日
トビラシシステムズ株式会社

トビラシシステムズ、「スミッシングトレンドレポート 2024」を公開 2024 年に流行した手口やランキングを発表

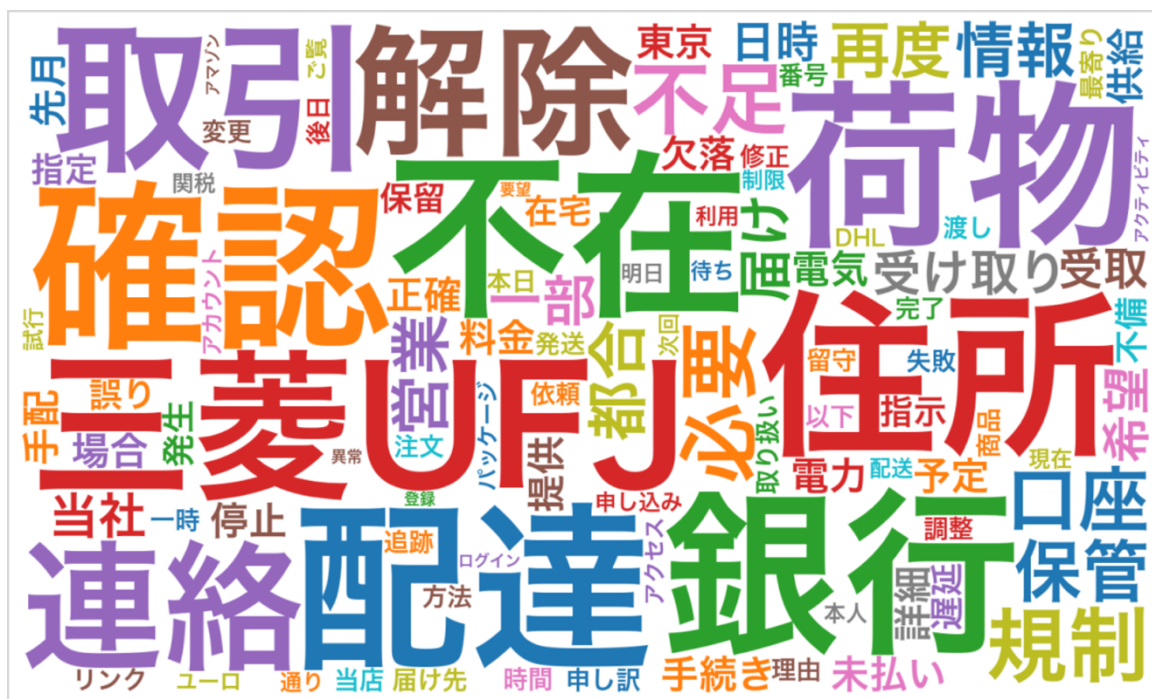
～宅配事業者かたる手口が 4 年連続 1 位。大手銀行や地方銀行かたる SMS も急増～

特殊詐欺やフィッシング詐欺の対策サービスを提供するトビラシシステムズ株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：明田 篤、証券コード：4441、以下「トビラシシステムズ」）は、独自の迷惑情報データベースをもとに、昨今増加する SMS を悪用したフィッシング詐欺「スミッシング」について調査し、2024 年に流行した手口の傾向をまとめた「スミッシングトレンドレポート 2024」を公開します。

<調査サマリー>

- 2024 年のスミッシングトレンドワードは「荷物」「不在」「配達」など宅配関連が頻出
- 1 位は宅配事業者、SMS 文面の種類が急増、生成 AI を利用し大量作成か
- 2 位は金融・決済サービス、大手銀行や地方銀行かたる SMS が急増
- 3 位は通信事業者、大手通信キャリアのブランド名悪用、架空料金請求型にも注意
- スミッシングで悪用されたブランド名 1 位は「三菱 UFJ 銀行」
- インターネットバンキング不正送金被害額 24 億円、スミッシング発生件数と連動か

■スミッシングトレンドワードは「荷物」「不在」「配達」など宅配関連が頻出



スミッシングとは、「SMS」と「フィッシング」を組み合わせた造語で、SMS を悪用したフィッシング詐欺を指します。スマートフォン・携帯電話の普及や、インターネットサービスの利用機会増加などに伴い、被害が拡大しています。

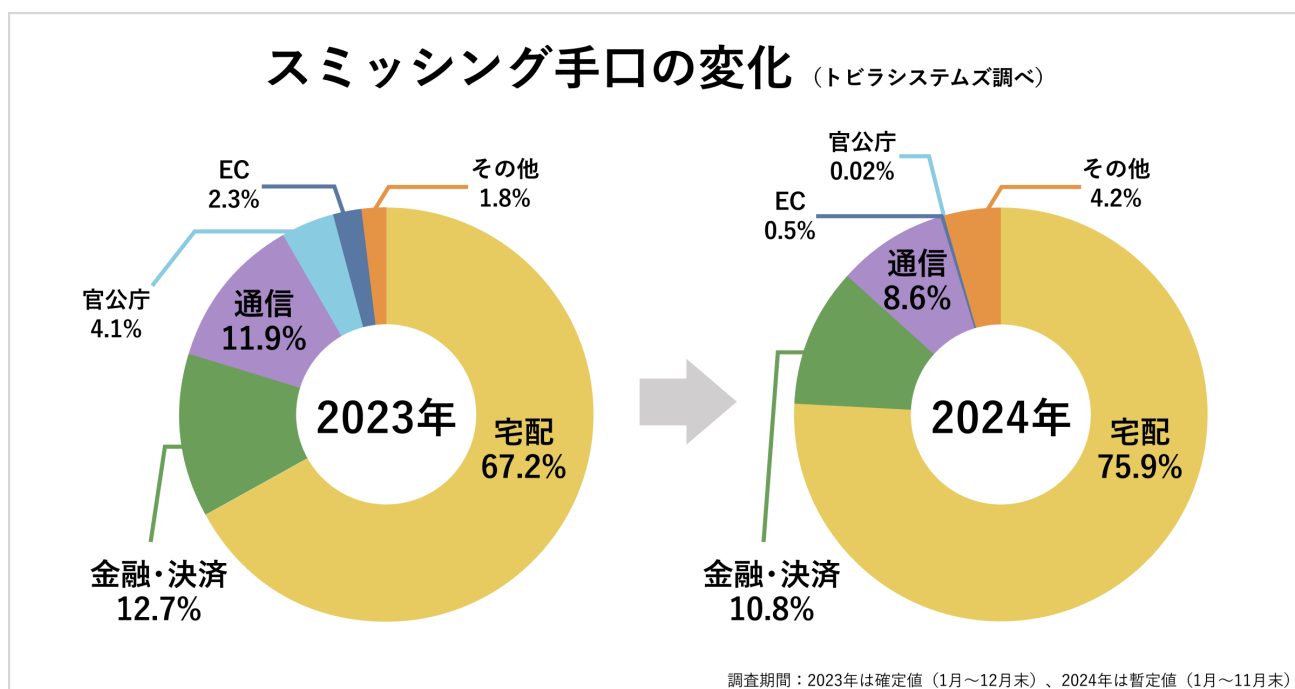
ワードマップに登場する単語は、トビラシシステムズの調査において、2024 年にスミッシングの文面で頻出した単語です。文面に多く使われた単語ほど、大きく表示されています。

2024 年は宅配事業者をかたる SMS に関連する「荷物」「不在」「配達」「住所」などの単語が頻出しました。また金融・決済サービスをかたる SMS に関連する「銀行」「取引」などの単語も目立ちました。ワードマップを参考に、スミッシング対策にお役立てください。

■2024 年最多の手口は宅配事業者をかたる SMS、4 年連続 1 位

トビラシシステムズの調査で、2024 年に確認されたスミッシング手口の **1 位は宅配事業者をかたる SMS（75.9%）** で、4 年連続 1 位となりました。**2 位は金融・決済サービスをかたる手口（10.8%）**、**3 位は通信事業者をかたる手口（8.6%）** となりました。上位 3 つの手口は前年から順位が変わらず、高水準で発生が続いていることがわかります。

また、2024 年の新たな傾向として、官公庁や EC 事業者をかたる手口が減少した一方で、電力会社やインターネットサービスなど、その他の様々な事業者をかたる手口が増加しました。



■スミッシングで悪用されたブランド名ランキング、1位は「三菱 UFJ 銀行」

スミッシングで悪用されたブランド名ランキング
(トビラシシステムズ調べ)

順位	2023年	順位	2024年	前年比
1	SoftBank	1	三菱UFJ銀行	↑
2	イオン銀行	2	SoftBank	↓
3	au	3	KDDI	↑
4	三井住友信託銀行	4	東京電力	↑
5	amazon	5	JCB	↑
6	日本年金機構	6	りそな銀行	↑
7	三菱UFJ銀行	7	docomo	↑
8	厚生労働省	8	Telegram	↑
9	国税庁	9	みずほ銀行	↑
10	KDDI	10	amazon	↓

■ 金融・決済サービス
 ■ 通信事業者
 ■ EC事業者
 ■ 官公庁
 ■ その他

2024年にスミッシングで悪用されたブランド名は、1位から順に「三菱 UFJ 銀行」

「SoftBank」「KDDI」となりました。2024年は金融機関のブランド名の悪用が目立ち、1位の「三菱 UFJ 銀行」のほか、「JCB」「りそな銀行」「みずほ銀行」が上位に入りました。

その他のブランドでは、「送電を停止する」などの文言が特徴の「東京電力」をかたる SMS が急上昇し 4 位となりました。また、特殊詐欺や強盗などの実行役を SNS 上で集める「闇バイト」の募集で悪用されるケースが多かったメッセージアプリ「Telegram」をかたる SMS も急増し 8 位となりました。

■2024 年のスミッシング三大手口を解説

2024 年に発生したスミッシングで特に多かった 3 つの手口について解説します。

1 位：宅配事業者をかたる手口

宅配事業者をかたる手口では、主に宅配便の不在通知を装い、SMS にブランド名を記載しない汎用的な文面が最も多いのが特徴です。なお、文面の種類が増加しており変化も著しいことから、犯行グループが生成 AI などを使用し多種多様な文面を大量に作成している可能性も考えられます。ブランド名を悪用した SMS では、「ヤマト運輸」や「日本郵便」をかたる手口が目立ちました。

宅配事業者をかたるSMSの例（トビラシシステムズ調べ）

お荷物をお近くの配送センターに保管しています。[URL]

配達しましたが、お受け取りできる方がいませんでした。[URL]

ご不在のため、荷物をお隣さんに預けておきました。[URL]

定期購入サービスの次回配送日を確認してください。[URL]

お荷物の配達日が確定しました。ご確認ください。[URL]

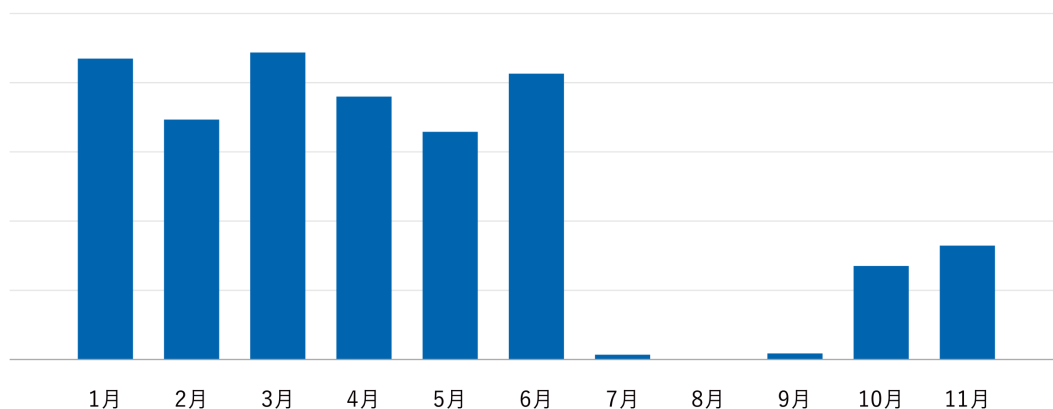
ご確認後、再配達のご依頼をお待ちしております。[URL]

※トビラシシステムズ「詐欺SMSモニター」より抜粋。[URL]の部分には偽サイトのURLが入ります。

2024 年は宅配事業者をかたる SMS が 7 月から 9 月にかけて急激に減少する動きがみられました。10 月以降は、上半期より件数が減少したものの、再び継続的に発生しています。

2024年 宅配事業者をかたるSMSの推移

（トビラシシステムズ調べ）



2位：金融・決済サービスをかたる手口

金融・決済サービスをかたる手口では、実在する銀行やクレジットカード会社、決済サービス等のブランド名をかたる SMS が多く発生しました。2024 年にスミッシングで悪用された金融・決済サービスのブランド名は多い順に「三菱 UFJ 銀行」「JCB」「りそな銀行」「みずほ銀行」「アイフル」でした。

2024年 スミッシングで悪用された金融・決済サービスのブランド名

(トビラシシステムズ調べ)

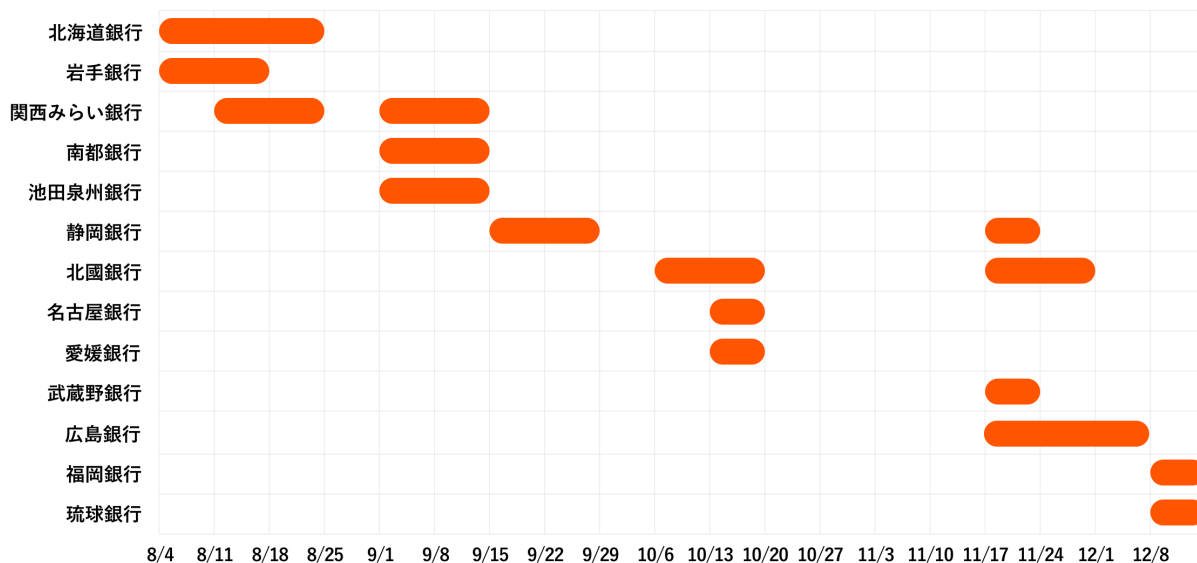
順位	ブランド名
1	三菱UFJ銀行
2	JCB
3	りそな銀行
4	みずほ銀行
5	アイフル

2024 年の新たな傾向として、大手銀行に加えて地方銀行をかたる SMS が多発しました。トビラシシステムズの調査では、北海道、東北、近畿、関東、東海、北陸、四国、中国、九州、沖縄の各地域に本部が所在する地方銀行 13 行のブランド名の悪用が確認されました。(2024 年 12 月 10 日時点)

また、2024 年 8 月から時期を追うにつれて、スミッシングで悪用される地方銀行のブランド名が北から南へ移動していく傾向がみられました。犯行グループが時期によってブランド名を使い分けることで、各地域の地方銀行ユーザーを狙っている可能性が考えられます。

2024年 スミッシングで悪用された地方銀行ブランドの推移

(トビラシシステムズ調べ)



※調査期間：2024年8月4日～12月10日



3 位：通信事業者をかたる手口

通信事業者をかたる手口では、「SoftBank」「KDDI」「docomo」などをかたり、重要なお知らせや緊急性の高い通知を装い、SMS 内のリンクにアクセスさせて偽サイトに誘導します。偽サイトで個人情報盗み取るフィッシング詐欺のほか、架空の未納料金支払いを求める偽サイトに誘導し、プリペイドカード等を購入させて金をだまし取る**架空料金請求型**の手口も多発しています。

通信事業者をかたるSMSの例（トビラシシステムズ調べ）

SoftBank - お読みいただきたい緊急のお知らせ。
[URL]

【KDDIからの重要なお知らせ】通信サービスの提供を終了させていただきます。ご確認ください：
[URL]

【NTTドコモ】重要なお知らせ、下記URLよりご覧ください。
[URL]

※トビラシシステムズ「詐欺SMSモニター」より抜粋。[URL]の部分には偽サイトのURLが入ります。

【重要なお知らせ】

下記内容をご確認の上、至急お支払いください。万一、支払期日を過ぎると、弊社通信サービスのご利用を【停止】致します。

お支払い方法選択

- ☒ 電子マネー（vプリカ発行コード）

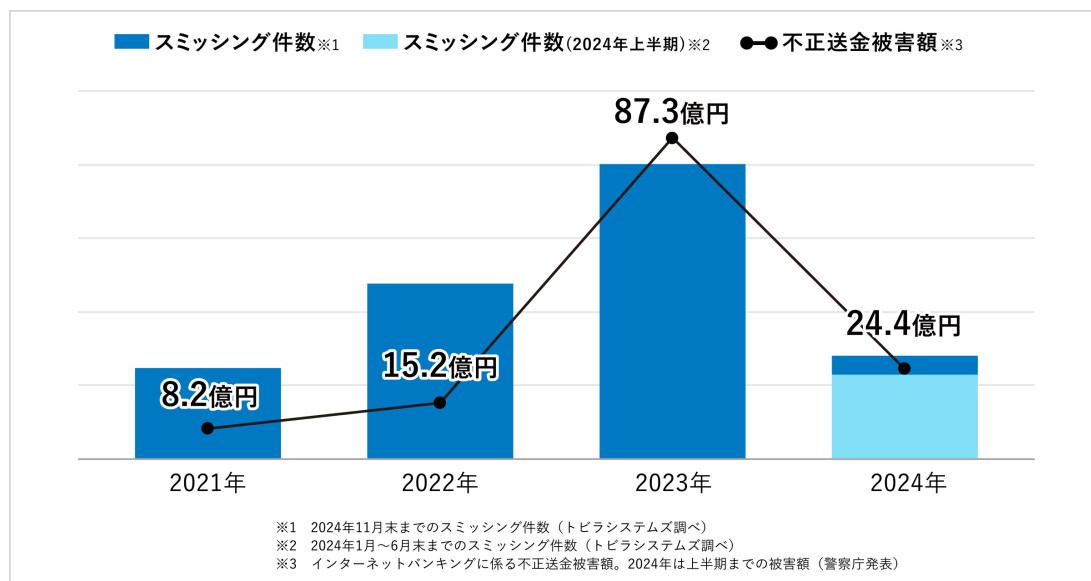
- ☐ 電子マネー（iTunes ギフトカード）

- ☐ タレジットカード


電子マネーで架空料金の支払いを求める偽サイト

■インターネットバンキングに係る不正送金被害額は 2024 上半期で 24 億円に

近年、フィッシング詐欺で盗み取られたアカウント情報やクレジットカード情報などが悪用され、インターネットバンキングに係る不正送金やクレジットカードの不正利用などの被害が社会問題となっています。警察庁の発表では、2023 年のインターネットバンキングに係る不正送金被害額は 87.3 億円まで急増し、2024 年は上半期で 24.4 億円に上っています。トビラシシステムズの調査では、スミッシングの発生件数に連動して、インターネットバンキングに係る不正送金被害額が増減する傾向がみられています。



<参考資料>

令和 6 年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について（警察庁）

https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R6kami/R06_kami_cyber_jousei.pdf

■スミッシングの被害にあわないための対策

スミッシングの被害にあわないために、日頃から対策を徹底してください。また、年末年始に家族や知人など周囲の方への注意喚起や、対策方法の見直しを行ってください。

迷惑 SMS 対策サービスで、詐欺の可能性のある SMS に対して自動で警告表示や迷惑フォルダ振り分けを行うことが可能です。日頃の対策とあわせてご活用ください。

<スミッシング被害を防ぐ3つの対策>

- 身に覚えのないメールや SMS が届いた場合、文面に添付された URL に触らない
- 日頃利用するサービスは、公式アプリやブックマークしたサイトから情報を確認
- 迷惑 SMS 対策サービスを活用し、フィッシング詐欺などの不審な SMS を自動で遮断

トビラシシステムズの迷惑 SMS 対策サービス

<https://tobilaphone.com/mobile/>

詐欺 SMS の検知状況をリアルタイムに観測し可視化する「詐欺 SMS モニター」

<https://smon.tobila.com/>

(YouTube) 危険なリンク押すとどうなる？フィッシング詐欺の手口を徹底検証【専門家解説】

<https://youtu.be/hs6OeP1FFMQ>



■トビラシステムズについて



テクノロジーで社会課題の解決を目指し、特殊詐欺やフィッシング詐欺、グレーゾーン犯罪撲滅のためのサービスを提供しています。詐欺電話・詐欺 SMS 等の情報を収集・調査してデータベースを構築し、自動でフィルタリングする「迷惑情報フィルタサービス」は、固定電話、モバイル、ビジネス向けに展開し月間約 1,500 万人にご利用いただいています。

公式サイト：

<https://tobila.com/>

<本件に関する報道関係のお問い合わせ先>

トビラシステムズ株式会社 広報担当

電話番号：050-3646-6670（直通）

お問い合わせフォーム：<https://tobila.com/contact/>